

経営比較分析表（令和元年度決算）

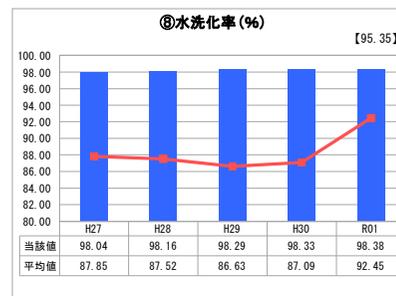
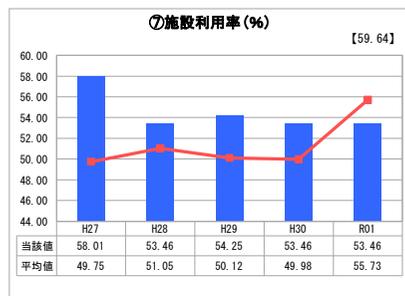
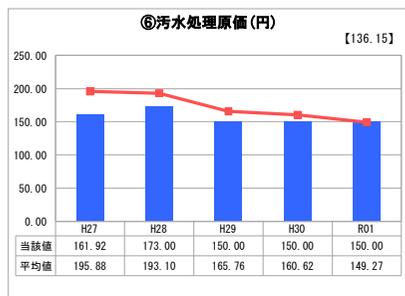
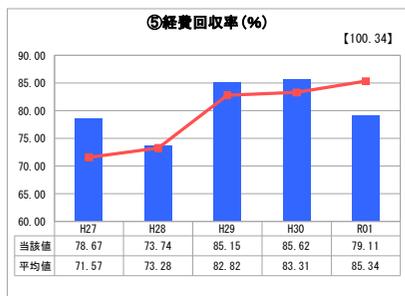
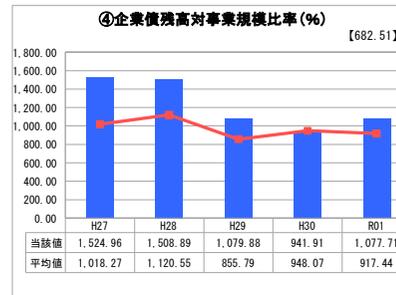
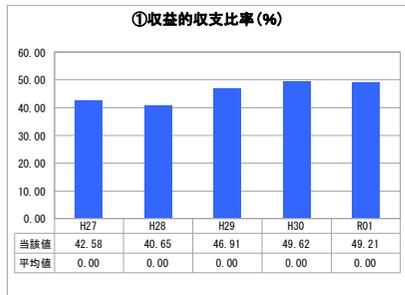
石川県 内灘町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cb1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	99.64	104.89	2,459

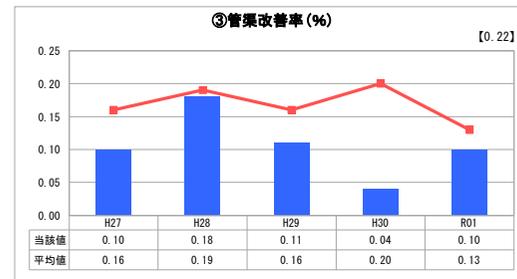
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
26,575	20.33	1,307.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
26,364	4.71	5,597.45

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・健全性について
収益的収支比率が50%を下回っているのは、総収益に対し、地方債償還金の中でも資本費準化債、特別措置分債選額の割合が高いためと分析する。経費回収率は79%程度と類似団体平均よりも低く、100%を下回っているため、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要であると分析できる。

また、H30までと比較し、企業債残高対事業規模比率が類似団体平均値を上回り悪化しているため、適正な投資規模や料金水準の分析による経営改善が求められる。

・効率性について
汚水処理原価が類似団体平均値を上回っており、施設利用率が類似団体平均値より低いことから、施設の効率性については悪化している。このため、経営の改善を行い、良好にしていく必要がある。水洗化率は98%を超えており、類似団体平均値を上回っているため、良好であるといえる。但し、公共用水域の水質保全を図る上で、さらに向上させる取組が必要である。

2. 老朽化の状況について

現時点では、法定耐用年数（一般的には50年）を経過している管渠は所有していないが、最も古い管渠で46年経過しているため、今後はストックマネジメント計画に基づく計画的な管渠改築等が必要である。

全体総括

現段階では、収益性や財政の健全性について、改善の検討が必要である。

また、R2に公営企業会計へ移行した。これを活用し、経営状態の正確な把握や資産管理を適切に行った上で、中長期財政計画を策定し、適正な料金水準を見直し、施設の改築、更新を検討、推進していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。